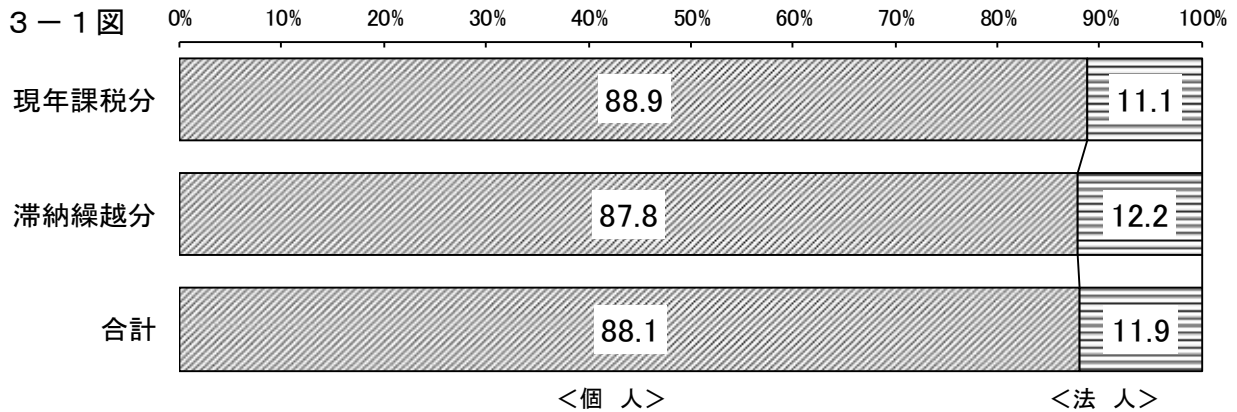


3. 収入未済額の状況

◎ 平成28年度末現在の収入未済額(調定額－収入済額－不納欠損額)は、総額で383億円であり、前年度と比べ約59億円減少した。

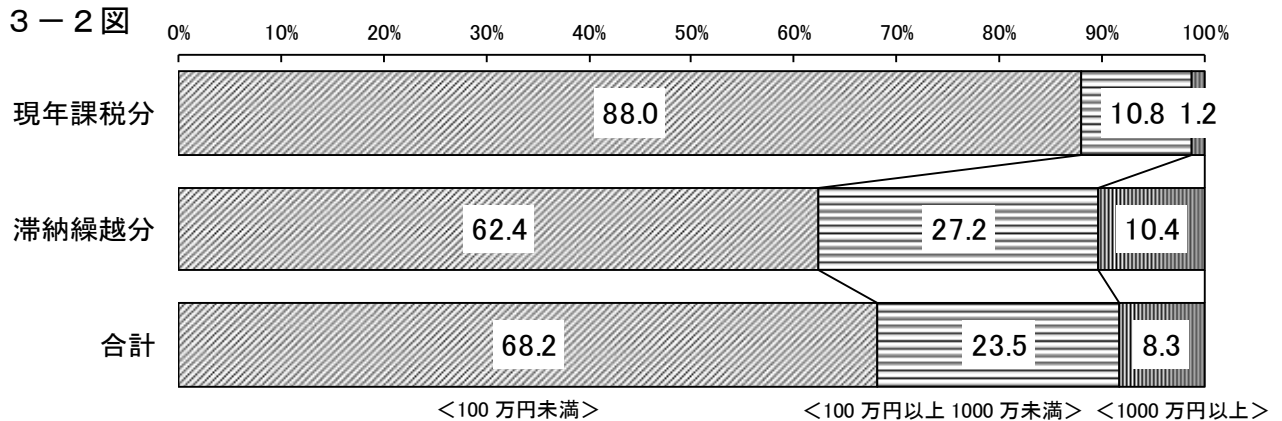
個人・法人別の状況

◎収入未済額の88.1%（前年度比0.4ポイント減）を個人分が占めている。



階層別の状況

◎ 階層別に見ると、100万円未満の滞納者の割合が、収入未済額の68.2%（前年度比1.6ポイント増）を占めており、特に現年課税分にその傾向が強い。



管内・管外別の状況

◎ 管内(市町村内)と管外(市町村外)に区分すると、管内分が、収入未済額の78.1%（前年度比1.2ポイント減）を占めている。

